



安全データシート

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

JIS Z 7253 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準拠

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 MicroCare CMS Specialty Flux Remover
製品番号 MCC-CMSL, MCC-CMSG, MCC-CMSGG, MCC-CMSP, MCC-CMSD, MCC-CMSGL

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 洗浄剤。

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者 MICROCARE ASIA PTE LTD
102E Pasir Panjang Road
Singapore 118529
Phone (65)6271.0182

製造者 MICROCARE CORPORATION
595 John Downey Drive
New Britain, CT 06051
United States of America
CAGE: OATV9
Tel: +1 800-638-0125, +1 860-827-0626
Fax: +1 860-827-8105
techsupport@microcare.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 CHEMTREC +1 703-741-5970 (from anywhere in the world)

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外
健康有害性 急性毒性 区分4 - H302 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分2 - H371
環境有害性 水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412

健康有害性 健康危険有害性についての追加情報はセクション11を参照。眼をわずかに刺激するおそれがある。目への飛沫は、発赤及び刺激を起こすことがある。長期にわたりまたは反復して皮膚に接触すると刺激、発赤および皮膚炎を引き起こすおそれがある。

物理化学的危険性 蒸気は空気より重いので、床に沿って移動し容器の底に蓄積するおそれがある。

2.2. ラベル要素

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害。
H371 臓器への障害のおそれ。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

P260 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は汚染された皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P301+P312 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P330 口をすすぐこと。
P405 施錠して保管すること。
P501 国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

補足的なラベル情報

EUH210 請求すれば安全データシートを入手可能である。
RCH001a 産業施設内での使用専用。

含有物

トランス - ジクロロエチレン (trans-DICHLOROETHYLENE), メタノール (METHANOL)

2.3. 他の危険有害性

この製品はPBTに分類される物質を含んでいる。

項目3：組成及び成分情報

3.2. 混合物

トランス - ジクロロエチレン (trans-DICHLOROETHYLENE) CAS番号: 156-60-5	30-60%
分類 引火性液体 区分2 - H225 急性毒性 区分4 - H332 水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412	
1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane) CAS番号: 138495-42-8	30-60%
分類 水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412	

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

1,1,1,3,3-ペンタフルオロブタン (1,1,1,3,3-PENTAFLUOROBUTANE) CAS番号: 406-58-6	10-30%
分類 引火性液体 区分2 - H225	
メタノール (METHANOL) CAS番号: 67-56-1	1-5%
分類 引火性液体 区分2 - H225 急性毒性 区分3 - H301 急性毒性 区分3 - H311 急性毒性 区分3 - H331 眼に対する重篤な刺激性 区分2A - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分1 - H370	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

組成に関する注釈 表示データは最新EC指令に準じます。

Composition

項目4：応急措置

4.1. 応急措置の説明

一般情報	被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。無理に吐かせないこと。意識を喪失した者は横向きの回復体位に寝かせ、呼吸ができることを確認する。呼吸が呈している場合には人工呼吸を行うこと。子供の手の届かない場所に保管する。
吸入	被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が困難な場合には適切な訓練を受けた人員が酸素投与を行って被災者を補助してもよい。
経口摂取	無理に吐かせないこと。口を水で十分にすすぐこと。多量の水を飲ませること。医師に具体的な診断を求めること。
皮膚接触	汚染された衣類を取り除き、皮膚を水で十分に洗うこと。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。
眼接触	コンタクトレンズがあれば取り外し顔を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けること。医師に具体的な診断を求めること。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

項目5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 製品は可燃性/引火性でない。周辺火災に適した消火剤を使用すること。

5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

特有の危険有害性 熱、火花および裸火から遠ざけること。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。過剰圧力蓄積のため、密閉容器は加熱されると激しく破裂することがある。

有害燃焼副産物 熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。炭素酸化物。

5.3. 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 火災に近い容器は移動するか水で冷却しなければならない。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

項目6：漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 潜在的危険有害性について全員に警告し、必要に応じ避難させる。適切に換気すること。蒸気の吸入を避けること。空気汚染が許容レベルを越える場合には承認を受けた呼吸マスクを使用すること。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 砂、土またはその他の適切な不燃材料で流出を封じ込めること。環境への放出を避ける。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。砂、土またはその他の不燃材料で流出物を封じ込めて吸収させること。可能なら、流出物をシャベルとほうき、または同様の用具で回収して再利用すること。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照 健康危険有害性についての追加情報はセクション11を参照。

項目7：取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 適切に換気すること。蒸気/スプレーの吸入と皮膚および眼との接触を避けること。

7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。子供の手の届かない場所に保管する。

7.3. 特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

Reference to other sections. 混触危険物質 (セクション10を参照) から遠ざけて保管すること。

項目8：ばく露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

職業ばく露限界値

1,1,1,3,3-ペンタフルオロブタン (1,1,1,3,3-PENTAFLUOROBUTANE)

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 1000 ppm

メタノール (METHANOL)

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 200 ppm 260 mg/m³

皮

皮 = 経皮的に吸収されることがある

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

Additional Occupational Exposure Limits

成分に関する注釈

ACGIH = US Standard. WEL = Workplace Exposure Limits

8.2. ばく露防止

保護具



適切な設備対策

特定の換気装置は必要でない。この製品は適切な換気のない密閉空間内では決して取り扱ってはならない。

眼 / 顔面の保護

リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。リスク評価によりより高度な保護の必要性が指摘された場合を除き、以下の保護具を着用しなければならない：顔面に密着する安全眼鏡。リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。次の保護具を着用しなければならない：化学物質飛沫ゴーグルまたは保護面。

手の保護

リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。

その他の皮膚及び身体の保護

飛沫または汚染に対する保護に適した保護衣を着用すること。接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。

衛生措置

特別な衛生基準は推奨されていないが化学製品を取り扱う際には常に優良個人衛生基準を遵守しなければならない。取扱中は飲食禁止および禁煙。

呼吸器の保護

蒸気は空気より重いので、床に沿って移動し容器の底に蓄積するおそれがある。密閉空間内または換気が悪い空間内では、必ず送気式呼吸マスクを着用しなければならない。

項目9：物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	透明な液体。
色	水のような無色透明。
臭い	かすかな臭い。エーテル。
臭いの閾値	情報得られず。
pH	情報得られず。
融点	情報得られず。
初留点及び沸騰範囲	36°C/96.8°F @ unspecified
引火点	製品は可燃性/引火性でない。Tag Closed Cup (ASTM D 56)
蒸発速度	情報得られず。
蒸発係数	情報得られず。
燃焼性 (固体、気体)	情報得られず。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	燃焼/爆発上限界: 14.00 %(V) 燃焼/爆発下限界: 6.25 %(V)
その他の燃焼性	情報得られず。

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

蒸気圧	66.3 kPa @ 20°C
蒸気密度	4.3
相対密度	1.304 @ 20°C
バルク密度	情報得られず。
溶解度	水にわずかに溶解性。
分配係数	情報得られず。
自己発火温度	情報得られず。
分解温度	情報得られず。
粘度	情報得られず。
爆発特性	情報得られず。
炎の影響下で爆発性	爆発性であると考えられない。
屈折率	情報得られず。
粒径	情報得られず。
分子量	情報得られず。
揮発性	100%
飽和濃度	情報得られず。
臨界温度	情報得られず。
揮発性有機化合物	情報得られず。
UDF Phrase 1	製品は可燃性/引火性でない。

項目10：安定性及び反応性

反応性	この製品に関連する反応危険有害性は知られていない。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	重合しない。
避けるべき条件	熱、火花および裸火から遠ざけること。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。
混触危険物質	アルカリ金属。アルカリ土類金属。粉末金属。
危険有害な分解生成物	加熱すると次の生成物を生じるおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。ハロゲン化炭化水素。フッ化水素 (HF)。二酸化炭素 (CO ₂)。一酸化炭素 (CO)。

項目11：有害性情報

11.1. 有害性情報

その他の健康影響	製品が発がん性である可能性を示す証拠はない。
急性毒性 - 経口	
急性経口毒性推定値 (ATE) (mg/kg)	1,466.31
急性毒性 - 経皮	

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

急性経皮毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 8,571.43

急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性推定値
(ATE) (蒸気mg/l) 1,828,571.43

吸入	蒸気は喉/呼吸器系を刺激するおそれがある。単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：咳。呼吸困難。頭痛。めまい。
経口摂取	飲み込むと有害。刺激臭。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：吐き気、嘔吐。胃痛。
皮膚接触	液体は皮膚を刺激するおそれがある。
眼接触	眼を刺激する。
進入経路	皮膚および/または眼との接触 摂取。吸入
標的臓器	眼 呼吸器系、肺 皮膚
医学的症狀	製品は皮膚に脱脂影響を及ぼす。アレルギー性接触湿疹を引き起こすおそれがある。過剰暴露した場合、有機溶剤は中枢神経系を抑制してめまい及び中毒を起こすことがあり、極めて高濃度では意識喪失及び死亡にいたることがある。

成分に関する毒物学的情報

トランス - ジクロロエチレン (trans-DICHLOROETHYLENE)

その他の健康影響 製品が発がん性である可能性を示す証拠はない。

1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane)

急性毒性 - 経口

急性経口毒性 (LD₅₀
mg/kg) 5,000.0

生物種 ラット

急性経口毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 5,000.0

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性 (LD₅₀
mg/kg) 5,000.0

生物種 ラット

急性経皮毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 5,000.0

急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性 (LC₅₀蒸気
mg/l) 114.0

生物種 ラット

急性吸入毒性推定値
(ATE) (蒸気mg/l) 114.0

皮膚腐食性 / 刺激性

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

動物データ	刺激性でない。ウサギ
ヒト皮膚モデル試験	データの欠如。
極端なpH	該当しない。皮膚を腐食しない。
<u>眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性</u>	
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	刺激性でない。ウサギ
<u>呼吸器感作性</u>	
呼吸器感作性	データの欠如。
<u>皮膚感作性</u>	
皮膚感作性	感作性でない。 - モルモット: 感作性でない。
<u>生殖細胞変異原性</u>	
遺伝毒性 - in vitro	この物質の変異原性を示す証拠はない。
遺伝毒性 - in vivo	この物質の変異原性を示す証拠はない。
<u>発がん性</u>	
発がん性	公知の発がん物質を一切含まない。
IARC発がん性	記載されていない。
<u>生殖毒性</u>	
生殖毒性 - 生殖能	動物実験における生殖毒性の証拠はない。
.	
皮膚接触	推奨事項に従って使用すれば皮膚刺激は生じない。皮膜の脱脂を引き起こすおそれがあるが刺激性ではない。
眼接触	眼刺激を引き起こすおそれがある。
急性及び慢性健康危険	製品が発がん性である可能性を示す証拠はない。

1,1,1,3,3-ペンタフルオロブタン (1,1,1,3,3-PENTAFLUOROBUTANE)

急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性 (LC₅₀蒸気 mg/l) 100,000.0

急性吸入毒性推定値 (ATE) (蒸気mg/l) 100,000.0

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露

特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回ばく露 最小毒性量 (LOAEL) 75100 ppm, 吸入,

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露

特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復ばく露 無影響濃度 (NOAEC) 6 mg/l, 吸入, ラット

標的臓器 肝臓 腎臓

メタノール (METHANOL)

急性毒性 - 経口

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

急性経口毒性推定値 (ATE) (mg/kg)	100.0
<u>急性毒性 - 経皮</u>	
急性経皮毒性推定値 (ATE) (mg/kg)	300.0
<u>急性毒性 - 吸入</u>	
急性吸入毒性 (LC ₅₀ 蒸気 mg/l)	64,000.0
急性吸入毒性推定値 (ATE) (蒸気mg/l)	64,000.0

項目12: 環境影響情報

生態毒性 この製品の生態毒性についてのデータは無い。

成分に関する生態学的情報

トランス - ジクロロエチレン (trans-DICHLOROETHYLENE)

生態毒性 水生生物に対する急性毒性は低い。

1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane)

生態毒性 物質が水中で魚やミミズに有害な影響を及ぼすほどの大きさを溶解することは考えにくい。

毒性 データなし。

成分に関する生態学的情報

トランス - ジクロロエチレン (trans-DICHLOROETHYLENE)

急性毒性 - 魚類 LC₅₀, 96 hours: 1350 mg/l, 魚類

急性毒性 - 水生無脊椎動物 EC₅₀, 48 hours: 220 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)

1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane)

急性毒性 - 魚類 LC₅₀, 96 hours: 13.9 mg/l, Onchorhynchus mykiss (ニジマス)

急性毒性 - 水生無脊椎動物 LC₅₀, 48 時間: 11.7 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)

急性毒性 - 水生植物 EC₅₀, 72 hours: >120 mg/l, 藻類

メタノール (METHANOL)

急性毒性 - 魚類 LC₅₀, 96 hours: >100 mg/l, Pimephales promelas (ファットヘッドミノー)

急性毒性 - 水生無脊椎動物 EC₅₀, 48 時間: >10000 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性 この製品の分解性についてのデータは無い。

12.3. 生体蓄積性

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

分配係数 情報得られず。

成分に関する生態学的情報

トランス - ジクロロエチレン (trans-DICHLOROETHYLENE)

生体蓄積性 この製品の水溶性は低いため生体蓄積性が重大である可能性は低い。

1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane)

生体蓄積性 この製品の水溶性は低いため生体蓄積性が重大である可能性は低い。

分配係数 Pow: 2.7

メタノール (METHANOL)

分配係数 : -0.77

12.4. 土壤中の移動性

移動性 製品は大気中に広がるおそれのある揮発性物質を含む。

成分に関する生態学的情報

トランス - ジクロロエチレン (trans-DICHLOROETHYLENE)

移動性 製品の水溶性は低い。

12.6. 他の有害影響

他の有害影響 製品は世界的温暖化 (温室効果) に関与する物質を含む。製品は光化学オゾンを生成する可能性のある揮発性有機化合物 (VOC) を含む。

項目13: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄上の注意

一般情報 廃棄物は規制された廃棄物として取り扱わなければならない。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

廃棄方法 現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

廃棄物クラス Aucune information disponible

項目14: 輸送上の注意

一般事項 規制されていない。製品は危険物の輸送に関する国際規則 (IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送) の適用範囲に含まれない。

14.2. 品名 (国連輸送名)

品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送) Liquid Cleaning Compound

品名 (国連輸送名) (IMDG) Liquid Cleaning Compound

品名 (国連輸送名) (ICAO) Liquid Cleaning Compound

14.3. 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

該当しない。情報は要求されていない。

MicroCare CMS Specialty Flux Remover

輸送ラベル

輸送警告標識は要求されない。

14.4. 容器等級

情報は要求されていない。該当しない。

14.5. 海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質

該当せず。

14.6. 使用者のための特別予防措置

ガスまたは蒸気は呼吸に必要な酸素に置き換わる (窒息剤)。

MARPOL73/78 附属書II及び 情報は要求されていない。

IBCコードによるばら積み輸

送

項目15: 適用法令

項目16: その他の情報

改訂に関する注釈 備考: 余白中の線は以前の版からの重大な変更を示している。

改訂日付 2018/01/17

改訂版 40

破棄日付 2017/09/05

SDS番号 BULK - CMS

SDSの現状 承認済み。

危険有害性情報の全文 H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H301 飲み込むと有毒。
H302 飲み込むと有害。
H311 皮膚に接触すると有毒。
H319 強い眼刺激。
H331 吸入すると有毒。
H332 吸入すると有害。
H370 臓器への障害。
H371 臓器への障害のおそれ。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。